

卒業つ子

No. 096
—発行日—
2014. 03. 24
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

卒業生よ、迷わず進め 平成25年度卒業式

三月一日、三年間の思い出を噛みしめるように読まれた卒業生答辞。真新しくなった体育館に校歌を歌う大きな声が響きました。感動と共に幕を閉じた卒業式。インタビュアーを受けてくださった三年生の表情は輝いていて、笑顔であふれていました。

卒業式 インタビュアー

「言葉にできない」「この気持ちをいつまでも忘れないでください。」

「卒業後も、一生懸命！」
高校生活の最後、その時、何を思う？
◎今の気持ち
「うれしい反面さびしい」「清々しい」「このクラスで良かったな」「友達と離れるのが寂しい」



最後の校歌は力強く！
▲思い出つまつた三年間
答辞を読む小川黎君

オー、グリーンワールド
便利さを追究し、目まぐるしい開発、発展が推し進められた私達の社会。その副作用とも呼べる環境問題もまた、止まることなく深刻化しています。中でも最近、私に気になるのは森林の減少です。生活のより便利にするためとはいえ、いくらなんでも開発の度が過ぎるのではないのでしょうか。私がこのような考えを持ち始めたのは身近にそ

の様子を見ることになったからです。私が住む町に大型商業施設が建てられることになり、現在工事が進められています。この計画を知った当初、私は喜びました。渋滞などで少しかり交通の便は悪くなるかもしれませんが、家からほど近いところに市内にあるものと同レベルの商業施設ができるのです。市内までわざわざ出かけなくてもちよつとした買い物の楽しみが味わえるのです。

しかし、土地の造成が進むのを目的に建てられる連れ、その考えは一変しました。建設予定地周辺の山が、森林が日毎になくなっていくのです。実際、目の前には緑の美しい自然光景が広がっていました。利便性の追求のためとはいえ、もともとある自然をいかに破壊してでも崩壊していいのだからか、安易にその景観を崩壊していいのだからか、そのような思いが強く

このような森林の伐採は日々、世界中の至る所で行われています。住宅はもちろん、紙や鉛筆などといった生活必需品を生産するために木材は必要です。が、このままでは世界中から緑が消える日は遠くないかも知れません。私達は緑豊かな自然にさまざまな恩恵を受けています。自然にはどうも共生的なためによりよく私達に課せられた問題です。(山田)

「保護者」に聞いた
◎グツときたところ
卒業式で感動した場面は人によってそれぞれ。「卒業生答辞」「在校生送辞」「校歌を歌ったところ」「最後のHRでの生徒のコメント」◎どんな大人になってほしいですか
「しっかりと仕事を頑張れる人」「責任感がある人」「遊び心を忘れない人」「普通の幸せを大切にできる人」

◎今、食べたいもの。
「米」「肉！」「お母さんの卵焼き」「ハンバーグ」「寿司」「ハンボルトケーキ」「紅白饅頭」
卒業式のあとは、好きな食べ物で腹を満たす！
◎今、一番したいこと。
「みんなで集まって思い出作り」「家に帰ってゆっくりしたい」「車の運転」「卒業旅行」「髪を染めたい」
「やりたいことがいっぱい！」「笑顔で語ってくださいました」
◎これからの目標。
「一生懸命仕事に取り組んでいきます」
「親孝行する！」「車の免許を取る」「自炊」「お金持ちになる」
「希望いっぱい未来を見据える、その目は輝いていました」

今日の一枚

春をもうすぐ！
強く吹く風 春一番

▼春になれば賑やかに

「どれも幸せになって欲しい」という想いから、親子への素敵な言葉が聞かれました。
◎お子さんに一言。
「体に気をつけて元気に頑張ってください。」「今までの全ての人に感謝して、これから強く生きていってください。」「三年間お疲れさまでした。」「夢に向かってがんばってください。」「たまには電話してね。」「娘、息子への励ましの想いがひしひしと伝わってきました。就職や進学で家を離れる子どもに「寂しい、ちゃんとやっつけていけるか心配」「修学旅行」

新聞部アンケート

「工業つ子」面白い？

今年も三年生アンケートと共に「工業つ子」について聞いてみました。毎年少しも変化していることを期待しつつ、集計していきます。今年の三年生は工業つ子をどんなふうに見て読んでいたのか？

読むと答えた人は九割！昨年より約一割増加。その内の三十五％の人が毎回読んでくれて

ついで先日、長工生不在の校舎に大勢の人が集まりました。そう「私たちもくぐって来た。」「入試」という門。あと数週間後には私たちが一つ学年を上がり、一年生の教室には不安とワクワクとドキドキの混ざった顔の新入生たちが居ることでしょう。今が空っぽのこのツバメの巣、ほかに春にはまたツバメが飛んできて賑やかになるはず。そう思うと、不安に押し潰されそうになる心も少し晴れわたるような気がします。「春」はもうすぐ。

より長いからの準備が必要！」「食事など健康面が心配」と嬉しい反面、寂しさも垣間見えました。工をひっぱって立ててきた三年生。先輩方のおかげでいられて幸せです。ありがとうとごさいました。

部としてはとても嬉しい結果となりました。みなさんに楽しんで読んでもらえるような、毎回読みたいくなる工業つ子を目指して日々新聞作りを励みます。

Q「工業つ子」を 読んでいましたか

読んでいない 11%
毎回 35%
ときどき 29%
気が向いたら 25%

青春日記

卒業式が終わって、浮遊感のある時が流れる。最近寝て起きたと思うと、いつの間にかベッドにINしている不思議なエウリディ。一時間ごとに一日が巡っている様な錯覚さえ覚えます。
そんな私に追い打ちをかける様に迫る春休み。緩む私の気、延びる睡眠時間。削がれて行くやろ化待ったなし！誰か私を閉ざされた襖の奥から連れ出して。
さて、つい先日行われた新入生合格発表。部活動の勧誘は禁止された。もユーをすすめるためにいざ体育館へ。中に入ると様々な柄の制服と対面。一度も着たことのない、ブルー

レザーを着た生徒をボートと眺める。気が付かぬはす。我が部の腕章はす。我が部の腕章はす。我が部の腕章はす。

Q工業つ子は 面白いですか

面白くない 5%
普通 18%
まあまあ 35%
面白い 42%

なんと、面白いと答えた人が約八割。昨年からは約二割も増えました。徐々が増えています。来年は約一割増えたいです。来年は約一割増えたいです。来年は約一割増えたいです。

Q一番好きなコーナー

一位 コマまんが
二位 青春日記
三位 スポーツ

昨年と同じく一位はコマまんがでした。次に青春日記。「苦勞した甲斐がありました。これからも読んでね。」(山田)

今年度は今日一枚、溶接日記と新コーナーが増えています。どれも毎回担当者が力を入れて書いています。ぜひ全てでコーナーに目を通してみたいです。新たな発見があるかも。アンケートのご協力ありがとうございました。より精進しますので、これからも工業つ子をよろしくお願いたします。